

令和3年度 第2回上越市スポーツ推進審議会書面会議

次 第

令和3年11月4日

1 報告事項

(1) 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について 資料1

(2) 全国高等学校総合体育大会の実施結果について 資料2

2 議 題

上越市第2次総合教育プラン後期計画に基づく令和3年度の実施状況について

(上半期実績) 資料3-1、資料3-2、資料3-3

1 東京2020オリンピック聖火リレーの実施について

- 実施日：令和3年6月4日（金）
- スタート地点：謙信公大橋西詰（上越市立春日小学校前）
- ゴール地点：リージョンプラザ上越
- ランナー人数：12人（総走行距離約2.6km）
- 観覧者数：沿道の観覧者：1,800人、ミニセレブレーション観覧者：124人
- 概要：上越市での聖火リレーは、当市ゆかりの戦国武将・上杉謙信の名を冠した「謙信公大通り」で行われ、スタート地点の謙信公大通西詰（春日小学校前）からゴール地点のリージョンプラザ上越までの約2.6キロメートルを、12人のランナーが聖火で繋いだ。当日は強風の影響により一部の催しが中止となったが、聖火リレー実施に当たり子どもたちを始めとした多くの市民から携わっていただいた。



【ゴール地点でのミニセレブレーション】



【市内小中学生が作成したオリジナル横断幕】

2 東京パラリンピック聖火フェスティバルの実施について

- 採火：令和3年8月12日（木）（日本スキー発祥記念館）
- GROW UP ACTION：8月12日（木）～14日（土）
（市役所木田庁舎、各区総合事務所、オーレンプラザほか）
- 上越市「集火式」：8月15日（日）（オーレンプラザ）
- 上越市の火の展示：8月15日（日）～16日（月）（謙信公武道館）
- 新潟県集火・出立式：8月16日（月）（新潟ふれ愛プラザ）
- 参加者数：採火や集火式に参加した中学生や展示会場への来場者等1,627人
- 概要：当市のパラリンピック聖火フェスティバルでは、8月12日の「採火」で市内中学生が「日本スキー発祥の火」から「上越市未来への火」を採火し各地で展示を行った。8月15日には各地で展示していた「上越市未来への火」を「集火式」で一つの「上越市の火」へと集火した。「上越市の火」は8月16日の新潟県集火・出立式で新潟県の火となり東京都へ送られ、47都道府県の火が一つのパラリンピック聖火となった。



【採火の様子】



【上越市「集火式」の様子】

3 東京2020パラリンピックにおける上越市出身石浦智美選手の活躍について

- 出場選手 石浦 智美（いしうら ともみ）選手
 - ・生年月日：1988年1月13日（33歳）
 - ・来歴：3歳から水泳を始め、10歳から本格的に競技を開始
上越市立北諏訪小学校（H12.3.31卒）
→伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 所属
- 東京パラリンピックにおける競技結果
 - ・8月29日（日）
種目：水泳女子50メートル自由形（視覚障害S11）
結果：7位入賞（記録：30秒85）
 - ・8月31日（火）
種目：水泳混合400メートル49ポイントフリーリレー
結果：5位入賞（記録：4分08秒66（日本新記録））
 - ・9月3日（金）
種目：水泳女子100メートル自由形（視覚障害S11）
結果：8位入賞（記録：1分13秒80）
- 当市における応援の取組
 - ・市役所木田第一庁舎へ出場内定を祝う懸垂幕の掲出（5月24日）
 - ・北諏訪小学校の児童による競技観戦・応援（8月27日）
 - ・市役所木田第一庁舎へ入賞を祝う懸垂幕の掲出（9月6日）
 - ・市長表敬訪問時の市民ホールでのお出迎え（9月27日）
 - ・北諏訪小学校でのパラリンピックの報告会（9月28日）



【会場での石浦選手（右）】

○石浦選手のコメント

東京から離れたふるさと上越でも幼稚園や小学生の皆さん含め、たくさんの方が応援してくださったことに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
上越の子供たちにもパラリンピックを知ってもらえる機会にもなり、私たちパラアスリートの様子を見て将来オリンピックやパラリンピック、夢に向かって頑張る子供たちがどんどん育ってほしいなと思っています。

4 東京2020パラリンピックにおけるドイツ柔道チームの競技結果について

- ・ドイツのホストタウンとしてこれまでに当市で3度の合宿を受け入れ、子どもたちを始めとする多くの市民の皆さんと交流を深めてきたパラリンピック柔道選手が、東京2020パラリンピックに出場した。
- ・残念ながらドイツ柔道チームが目標としていたメダル獲得はならなかったが、東京大会で全力を尽くして健闘された。
- 競技結果
 - ・8月27日 カルメン・ブルスイヒ（Ramona Brussig）階級：女子52kg級 結果：5位入賞
ラモーナ・ブルスイヒ（Carmen Brussig）階級：女子48kg級 結果：予選敗退
 - ・8月28日 ニコライ・コルンハース（Nikolai Kornhaß）階級：男子73kg級 結果：準決勝敗退
 - ・8月29日 オリーバー・アップマン（Oliver Upmann）階級：男子100kg級 結果：5位入賞



【ニコライ選手（白）】



【オリーバー選手（青）】

東京 2020 大会におけるドイツ体操チームの直前合宿について

1. 概要

- (1)滞在期間：7月9日（金）～23日（金）（14泊15日）
 - ・チーム代表（1人）：7月17日（土）に選手村へ移動
 - ・出場選手等（15人）：7月18日（日）に選手村へ移動
 - ・控え選手等（5人）：7月23日（金）まで上越市に滞在し、そのまま帰国
- (2)選手団構成：21人（選手 10人（男女各5人）、コーチ等11人）
- (3)練習会場：上越市立上越体操場ジムリーナ
- (4)宿泊施設：市内宿泊施設
 - ・宿泊部屋は1フロア貸切利用（18日以降は半フロア貸切利用）
 - ・食事会場は宴会場を貸切利用

2. 合宿受入れにおける感染症対策

- ・国はホストタウンにおける選手等受入れマニュアルの作成を求めており、当市においても国が示した手引きを踏まえたマニュアルを作成し受入れを実施した。
- ・マニュアルで定めた主な事項は次のとおり

項目	概要
選手等の行程表の作成	滞在場所を網羅（宿泊場所、練習場等） 移動経路（入国～ホストタウン～選手村）
感染症防止の基本原則	三密の回避、社会的距離の確保、マスクの着用等
移動手段、行動ルール	専用車両の使用（入国空港→上越市→選手村 貸切バス） （宿泊施設⇄練習会場 市マイクロバス）
宿泊	個室利用、フロア貸切、他の宿泊客との動線の分離 （チーム専用出入り口の確保）
食事	貸切室利用、食事の小分け提供等
練習	貸切使用、消毒の徹底、三密回避
交流	公開練習（会場内の動線分離）、接触が生じない形態の交流（オンライン、動画）
健康管理、行動管理	健康状態の把握（COCOA 及び健康管理アプリの活用）、行動の制限 （宿泊先、練習会場に限定）
検査、感染疑い時の対応	検査の実施（選手・アテンド・通訳は毎日実施）、検査結果の情報共有、陽性時の連絡体制

- ・当市が作成したマニュアルは、国によるチェックが行われた。
- ・感染症対策費用は国が交付金として負担する。（検査経費、宿泊施設でのフロア貸切経費等）

3. 選手等の出入国に係る措置について

- ・選手等が入国後、国内で活動を行うに当たっては、滞在先や移動手段を限定する等の厳格な行動管理、健康管理、出入国時検査や定期的な検査などの必要な防疫上の措置を実施した。
- ・入国した選手等の受入責任者は滞在場所に応じてホストタウン及び大会組織委員会となる。



4. ホストタウン交流（市民等による見学、応援、サポート）

- ・感染症対策を踏まえ、選手等との接触が生じない交流の機会を提供した。
- 練習初日のお出迎え（130人）
 - ・地元町内会や「ジムリーナと新しい夢を育む会」、太鼓団体の演奏によるお出迎えを実施。
- オンラインによる練習見学、交流
 - ・オンラインで小学生が練習見学や選手へ質問するなどして交流した。（11校、628人）
 - ・オンラインで市長と面会し、歓迎の挨拶のほか、お土産の交換を行った。
- その他の取組
 - ・小学生が作成したメッセージ横断幕を練習会場に掲示。（4校）
 - ・ホストタウンサポーターが手作りのお土産を贈呈。
 - ・「ジムリーナと新しい夢を育む会」が米などのお土産を贈呈。
 - ・民間事業者（無印良品直江津、セブンイレブン下稲塚店）による移動販売を実施。
- 中止した事業
 - ・歓迎セレモニー、公開練習



【練習初日のお出迎え】



【小学生とのオンライン交流】



【移動販売の実施】

5. ドイツチームの主な成績

○団体総合

- ・男子 8位入賞
- ・女子 予選9位（予選落ち）

○個人総合

- ・男子 ルーカス・ダウザー選手：予選20位（決勝進出） 決勝18位
- ・男子 フィリップ・ヘルダー選手：予選27位（決勝進出） 決勝23位
- ・女子 エリーザベット・ザイツ選手：予選19位（決勝進出） 決勝9位
- ・女子 キム・ブイ選手：予選31位（決勝進出） 決勝17位



○個人種目別

- ・男子種目別平行棒 ルーカス・ダウザー選手 銀メダル
- ・女子種目別段違い平行棒 エリーザベット・ザイツ選手 5位入賞

6. ドイツチームのコメント（一部抜粋）

- 私たちが素晴らしい成績を残すことができたのは、上越市での直前合宿において日本の夏の気候に適応し、充実した練習ができたことへの成果の現れであると感じています。
- ジムリーナは私たちが訪れてきた世界の体操施設の中でもトップに入る施設であり、素晴らしい施設を建設されましたことに改めてお祝い申し上げます。
- 上越市民の皆さんと今後もこの友情関係が続くことを願っています。

1 各競技種目大会の概要

	弓道	体操競技
競技期日	7月29日(木)～8月1日(日)	8月9日(月)～8月11日(水)
競技等日程	7/27(火)、28(水) 公式練習 7/29(木) 開始式、個人競技、表彰式 7/30(金) 団体競技 予選 7/31(土) 団体競技 決勝トーナメント 8/1(日) 団体競技 決勝トーナメント 表彰・閉会宣言	8/6(金)～8(日) 割当練習・公式練習 8/9(月) 開始式 男女 予選演技1日目 8/10(火) 男女 予選演技2日目 8/11(水) 男女 決勝演技、閉会式
競技会場	謙信公武道館 特設弓道場	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
練習会場等	[練習会場] ・謙信公武道館 弓道場 (近的)	[サブ会場] ・ジムリーナ [練習会場] ・教育プラザ体育館 (男子) ・大潟体操アリーナ (女子)
大会関係者数※	選手・監督 218校 1,052人 役員・補助員等 487人 計 1,539人	選手・監督 208校 949人 役員・補助員等 670人 計 1,619人

※選手・監督は、団体・個人両方に出場する学校・選手の重複を除いた実数

※役員は主に県内高校教員、補助員は市内・県内高校生

2 当市の出場選手

- (1) 弓道 …6月5日(土)～7日(月)開催の県高校総体弓道大会において県代表が決定
○男子団体の部 上越総合技術高校 (準優勝)
西條 陸翔、北川 晃暉、高澤 迫斗、小林 晃太、土田 莉玖、川上 尚悟
○男子個人の部 上越総合技術高校 土田 莉玖
- (2) 体操競技 …5月29日(土)開催の県高校総体体操競技大会において県代表が決定
○男子団体の部 関根学園高校 (優勝) 佐藤 寛太、富永 翔、猪田 裕斗、生越 空
○女子団体の部 関根学園高校 (優勝) 細川 琴未、伊藤 美海、岡田 真祐美、小嶋 陽菜
○男子個人の部 関根学園高校 水品 遥希、金澤 聖亜
○女子個人の部 関根学園高校 川田 優奈、石田 侑唯 / 高田高校 水品 彩花
※都道府県代表は、団体が男女各1校、個人が男女各2人であるが、開催県には2倍の出場権が与えられる。

3 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 観客等の取扱い
・一般観覧者のほか、保護者等の応援者も受け入れない。(試合の様子は、全国高体連公式サイトでライブ配信予定)
・競技会場への出入りは選手・監督、役員・補助員のほか、報道機関、視察員等のみとなり、入館者全員を事前に把握の上、大会期間中の毎日、入館時の検温とIDカード交付による入館管理を行う。
- (2) ガイドライン等に則った大会運営
・全国高等学校体育連盟の「新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」、大会前・期間中の感染判明への対応の詳細を定めた競技種目ごとの「ガイドライン」に則り大会を運営
- (3) その他運営面での主な変更点等
・弓道… ・開始式及び表彰式の簡素化
・他施設での練習会場の設置を取り止め、競技会場内の常設近的場での割振り練習のみに変更
・体操競技… ・開会式を開始式とし簡素化、フリー練習を廃止し割当練習に変更

4 宿泊状況 …選手・監督、県外役員等

	弓道	体操競技
市内 高田周辺・春日山地区、上越 妙高駅周辺、直江津周辺・大 潟地区、谷浜地区等	24施設、763人、3,225泊	23施設、754人、3,747泊
妙高市・その他地区	5施設、284人、1,210泊	2施設、266人、1,366泊
計	29施設、1,047人、4,435泊	25施設、1,020人、5,113泊

※表中左から、宿泊施設数、1日の最大宿泊者数、延べ宿泊数

※上記は、大会専用の宿泊申込みサイトを介して宿泊した実数

5 参加校の移動手段

参加校に対し、当市の交通事情を情報提供のうえ来訪後の移動手段を確認。調査結果を参考に駐車場を確保したほか、タクシー・ハイヤー事業者、レンタカー事業者に情報提供し、円滑な移動への協力を要請

- (1) 弓道 自前車両 77台程度、タクシー利用 161台程度、レンタカー利用 47台程度
(2) 体操競技 自前車両 118台程度、タクシー利用 67台程度、レンタカー利用 58台程度

※上記は、大会前の調査時点で参加校が予定していた移動手段。日別の利用台数等の詳細は不明

6 協賛（ナショナルスポンサーを除く）

	弓道	体操競技
競技関係大学・団体	10団体、275千円 日本大学、関西学院大学、国際武道大学、桜美林大学、関西大学ほか (県内・市内なし)	大学：8団体、240千円 日本女子体育大学、新潟経営大学ほか (県内1、市内なし) 体操クラブ：5団体、120千円 長岡市体操協会・ジュニア体操クラブ、 レインボージムナスティックス大潟ほか (県内4、市内1)
地元企業(市内)	2団体、15千円 両競技種目に同額 (株)リボン (大日スローライフビレッジ)、タカダステーションホテル	
その他企業	2団体、40千円 …競技用品企業ほか	4団体、180千円 …競技用品企業
計	14団体、330千円	19団体、555千円

*新潟県への協賛 →開催市に分配	5団体 (株)第四北越銀行、新潟県労働金庫、NSGグループ、大原学園、東日本高速道路(株) 分配金 弓道 340,677円、体操競技 340,676円
*物資等の提供	米やのコシヒカリ弁当(有)上越ベイコク)から、打合せ会議時の弁当提供、出場選手への地元産コシヒカリ精米300グラム(2合)×1,920袋の提供 (弓道：202千円相当、体操競技：202千円相当)

7 売店

- (1) 弓道 スポーツ用品関係1店、弓具修理・販売1店、地元菓子店1店※ 計3店
(2) 体操競技 スポーツ用品関係3店、競技ユニフォーム等販売3店、地元菓子店1店※ 計7店
※ ナショナルスポンサーは出店を取りやめ、チラシ配付によるインターネット販売となる
※ 地元菓子店 …藤商事 越後上越・毘沙門店(弓道)、(有)栄喜堂菓子店(体操競技)

令和3年度全国高等学校総合体育大会（弓道・体操競技）の結果

1 各競技種目別大会の概要

	弓道	体操競技
期 間	7月29日(木)～8月1日(日)	8月9日(月)～8月11日(水)
会 場	新潟県立武道館「謙信公武道館」	リージョンプラザ上越
関係者数	選手・監督 218校 1,052人	選手・監督 208校 949人
	役員・補助員等 487人 (役員174人、補助員313人)	競技役員・補助員等 670人 (役員290人、補助員380人)
	計 1,539人	計 1,619人

2 大会を振り返って（総括）

- 昨年度の大会が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされたことを踏まえ、高校生をはじめ多くの関係者の2年分の想いが詰まった大会と言える。
- 大会の開催に当たっては、無観客での開催とするなど、感染症対策を講じた大会運営を行った。大会開催に対して多くの選手・保護者等から感謝の声をいただいた。
- 市内外の多くの高校生からも、大会周知、会場準備、運営補助など、大会を「支える」立場として関わっていただいたほか、多くの大会関係者の支援・協力のもと、大会が成功裡に終了した。
- また、全国の関係者から練習会場を含めて当市の武道や体操競技の施設を知っていただく大変よい機会となった。
- 熱戦を繰り広げた選手の皆さんから、多くの方々に勇気と感動を与えていただき、当市での大会開催が市民のスポーツに対する意識と関心が高まる契機になるものと期待される。

3 当市の出場選手の結果

(1) 弓道

○男子団体の部 上越総合技術高校 にしじょう りくと きたがわ こうき たかさわ はくと 西條 陸翔、北川 晃暉、高澤 迫斗、
こばやし こうた つちだ りく かわかみ しょうご 小林 晃太、土田 莉玖、(川上 尚悟)

・予選 (4射×5人、計20射)： 通過 (的中数10)

・決勝トーナメント

1回戦 (20射)：勝利 ○上越総合技術 11-10 三田学園 (兵庫県)

2回戦 (20射)：敗退 ●上越総合技術 15-15 秀岳館 (熊本県)

[ベスト16] 同中競射* 3-4

※同中競射：的中数が同数の場合、各自1射、計5射の延長戦により
勝敗を決めるもの

○男子個人の部 上越総合技術高校 つちだ りく 土田 莉玖

・予選：通過

・準決勝：敗退 [順位なし]

(2) 体操競技

○男子団体の部 関根学園高校 さとう かんた とみなが しょう いのだ ひろと おごせ そら 佐藤 寛太、富永 翔、猪田 裕斗、生越 空
・予選：敗退[17位]

○男子個人の部 関根学園高校 さとう かんた とみなが しょう いのだ ひろと おごせ そら 佐藤 寛太、富永 翔、猪田 裕斗、生越 空、
みずしな はるき かなざわ せあ 水品 遥希、金澤 聖亜

・予選：1人通過 (佐藤 寛太)

・決勝：77位

○女子団体の部 関根学園高校 ほそかわ ことみ いたう みう おかだ まゆみ こじま はるな 細川 琴未、伊藤 美海、岡田 真祐美、小嶋 陽菜

・予選：通過[13位]

・決勝：14位

○女子個人の部 関根学園高校 ほそかわ ことみ いたう みう おかだ まゆみ こじま はるな 細川 琴未、伊藤 美海、岡田 真祐美、小嶋 陽菜、
かわた ゆな いしだ ゆい 川田 優奈、石田 侑唯

高田高校 みずしな あやか 水品 彩花

・予選：4人通過 (細川 琴未、伊藤 美海、岡田 真祐美、小嶋 陽菜)

・決勝：最高39位 … 岡田 真祐美

※参考：大会結果（全体）

【弓道】

○男子団体の部 優勝：山口県立南陽工業高校 (山口県)
準優勝：秀岳館高校 (熊本県) ※上越総合技術との2回戦対戦校

○男子個人の部 優勝：柴田 幸次郎 (中京高校 岐阜県)
準優勝：森岡 優介 (岡山県立津山商業高校 岡山県)

○女子団体の部 優勝：足利大学附属高校 (栃木県)
準優勝：祐誠高校 (福岡県)

○女子個人の部 優勝：藤本 友香 (足利大学附属高校 栃木県)
準優勝：尾島 彩香 (富山第一高校 富山県)

【体操競技】

○男子団体の部 優勝：清風高校 (大阪府)
準優勝：船橋市立船橋高校 (千葉県)

○男子個人の部 優勝：川上 翔平 (清風高校 大阪府)
準優勝：谷田 雅治 (作新学院高校 栃木県)

○女子団体の部 優勝：名古屋経済大学市邨高校 (愛知県)
準優勝：福井県立鯖江高校 (福井県)

○女子個人の部 優勝：宮田 笙子 (福井県立鯖江高校 福井県)
準優勝：曾根崎 しずく (佐賀県立鳥栖高校 佐賀県)

4 出場辞退、傷病者等

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による出場辞退：両競技なし
- ・ 傷病者：弓道なし
体操競技で打撲や捻挫など16人、うち脱臼や関節痛で救急搬送2人
- ・ 熱中症：両競技なし

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-1 生涯スポーツ活動の充実

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携して地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標

評価内容	令和3年度	9月末時点
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：R2・39.5%>	100%以上	20.1%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数 <現状値：R2・23,166人>	26,500人以上	20,593人

□ 目標を達成するための事業等

(1) スポーツ活動の普及推進

① 子どもの体力づくり運動の普及

多くの市民に幼児期からの健康と体力づくりに取り組んでもらうため、令和2年2月策定した「運動あそびプログラム」の普及、展開を行う。

- ・運動あそびプログラムを活用した親子運動あそび教室の実施
- ・保育士やスポーツ推進委員等を対象とした指導者向け講習会の実施

実施内容	開催日時	実施回数	参加者(延べ)
親子運動あそび教室	運動あそびプログラムを活用した親子体操 5月15・23日、6月19・27日、9月25日 午前10時～11時	5回	79人
運動あそび指導者養成講習会	公立保育園の保育士を対象とした運動あそびの指導者向け講習会 8月2日 午後2時～3時	1回	40人

② スポーツ推進委員の活動を促進

- ・スポーツ推進委員と連携した取組の充実

活動内容	実施回数	参加者数(延べ)	
スポーツ教室	ニュースポーツ教室など	47	1,090
出前講座	地域での健康体操など	15	273
体力測定会	市民向け体力測定会	0	0

- ③ 上越体操場ジムリーナを活用したスポーツ活動の推進
 - ・体操器具等を活用したスポーツ教室の開催

【開催状況】

教室名	開催日時		開催回数	参加者(延べ)
スローエアロビック	毎週金曜日	午前10時30分～11時30分	8回	124人
ストレッチ体操	毎週水曜日	午後2時～3時	8回	100人
ノルディックウォーキング	毎週水・金曜日	午前9時30分～11時00分	8回	21人
J-Wellness	毎週火・木曜日	午前9時30分～11時00分	12回	56人
スラックライン教室	毎週水曜日	午後7時～8時30分	4回	44人



【スローエアロビック教室】



【スラックライン教室】

④ 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- ・国が示した手引きに基づく「ホストタウンにおける選手等受入れマニュアル」を作成し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、7月にドイツ体操チームのオリンピック直前合宿を受け入れた。（詳細は資料1参照）
- ・東京2020大会関連事業として、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを実施したほか、東京パラリンピック水泳に出場した上越市出身の石浦智美選手を応援するため、懸垂幕の掲出や母校での競技観戦などを実施した。（詳細は資料1参照）
- ・パラリンピック柔道チームの事前合宿の受入れを契機としたドイツとのスポーツ交流を継続させるため、11月にU-18柔道チームの合宿受入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限の緩和の見通しが立たないことから中止することとした。

第2次総合教育プラン後期実施計画に基づく令和3年度の取組状況（9月末時点）

⑤ 全国高等学校総合体育大会の開催

- 令和3年度全国高等学校総合体育大会において、当市が受け持つ競技種目別大会の弓道と体操競技が下記のとおり開催された。
- コロナ禍の中、感染症対策を講じて2年ぶりとなる大会開催が実現したが、感染症拡大防止の観点から無観客で行われた。なお、両競技種目とも新型コロナウイルス感染症の影響による出場辞退等の事案はなかった。

	弓道	体操競技
競技期間・会場	7月29日（木）～8月1日（日） 新潟県立武道館「謙信公武道館」	8月9日（月）～8月11日（水） リージョンプラザ上越
大会関係者数	選手・監督 218校 1,052人 役員・補助員等 487人 計 1,539人	選手・監督 208校 949人 役員・補助員等 670人 計 1,619人

（その他）

- 市内・県内の多くの高校生から、大会運営補助のほか、大会周知、会場準備など「支える」立場として大会に関わっていただいた。
- 大会開催に当たっては、観戦を希望する声が若干あったものの、無観客に理解を示していただいた。また多くの選手・保護者等から開催に対する感謝の声をいただいた。
- 大会を通じて、練習会場を含めて当市にある施設を知っていただくよい機会となった。

（3）総合型地域スポーツクラブの育成・支援

- 総合型地域スポーツクラブ研修会について、11月28日（日）に（公財）新潟県スポーツ協会及び上越SCネットと共催により実施予定。
- 総合型地域スポーツクラブ未設置区域である、牧区と大島区を対象に市主催教室である「いきいきスポーツ教室」を開催している。

【牧区】6月～10月の毎週火曜日実施
ノルディックウォーキング

【大島区】6～11月の毎週金曜日実施
ノルディックウォーキング



【牧区】



【大島区】

（2）スポーツ大会、団体等への支援

大会名等	予算額(千円)	交付額(千円)	交付率	備考
高田城ロードレース大会	3,713	3,321	89.4%	中止（開催準備経費を支援）
新潟県駅伝競走大会	481	481	100%	
ビーチバレーボール大会	183	183	100%	
上越市民スポーツ祭	786	786	100%	
スポーツ協会運営費支援	7,206	7,206	100%	
スポーツ少年団活動支援	218	218	100%	
アクティブスポーツ団体活動支援	923	923	100%	
えちご・くびき野 100km マラソン大会	2,634	2,634	100%	準備年に必要な経費を支援
ビーチラグビー大会	640	0	0%	中止（コロナ）
居多まつり武道大会	167	0	0%	中止（コロナ）

上越市第2次総合教育プラン後期計画に基づく令和3年度の取組状況等について（9月末時点）

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-2 競技スポーツの発展

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ 成果指標

評価内容	令和3年度	9月末時点
中高生の北信越大会と小・中・高生の全国大会出場者数 〈現状値：R2・106人〉	464人以上	166人
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：R2・7人〉	103人以上	22人

□ 目標を達成するための事業等

スポーツ競技力の向上、アスリート育成強化の推進（スポーツ推進課）

① 年齢や学校の枠を超え指導体制によるトップアスリートの育成

市スポーツ協会が指定するジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技団体と新潟県が指定する地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業指定競技団体をはじめ、各種競技団体から国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化に取り組む。

- ・ジュニアトップアスリート育成強化事業（補助事業・2,448千円）・・・ 交付率100%

指定競技種目：体操、陸上、バレーボール、山岳、硬式野球、スキー

活動状況等：各競技4月から強化練習等を実施

大会実績：体操・・・北信越高等学校体育大会	8人入賞
全国高等学校体育大会	12人出場
北信越中学校総合競技大会	8人入賞
全国中学校体育大会	4人入賞
全日本ジュニア体操競技選手権大会	3人入賞
山岳・・・リードユース日本選手権南砺大会	1人出場

- ・地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業（県補助事業・600千円）・・・ 交付率100%

指定競技種目：空手道

活動状況等：4月から強化練習等を実施（指定強化選手67人（小学性36人、中学生23人、高校生8人）、指導者7人）

大会実績：北信越高等学校空手道選手権大会	6人出場
全国高等学校体育大会	2人出場
全国中学生空手道選手権大会	2人出場
全日本少年少女空手道選手権大会	5人出場

- ・ジュニアスポーツクラブの育成事業（補助事業・1,527千円）・・・ 交付率100%
ジュニア層のスポーツ振興を促進するため、スポーツ教室や選手強化等を実施し底辺拡大を図る。

② 上越市を拠点としたスポーツアスリートの育成

上越市を拠点にして国際的、全国的に活躍できるアスリートの育成に取り組む。

- ・スポーツアスリート育成強化事業（補助事業・2,100千円）・・・ 交付率100%

③ スポーツ活動サポート事業

小学校の課外活動、中学校の運動部活動に専門的な技術指導ができる指導者を派遣し、児童生徒の競技力の向上に取り組む。

【スポーツ活動サポート事業実施状況】

	派遣予定	派遣依頼種目	実施状況
小学校	11校 132回	陸上・水泳・ダンス・スキー	8校 35回
中学校	17校 1,217回	クロスカントリースキー、新体操、ソフトテニス、卓球、軟式野球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、陸上、剣道、ソフトボール、	16校 552回

④ スポーツ振興奨励金

国際大会や全国大会等に出場する当市に居住する優秀な選手等に対して奨励金を交付し、市民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの推進を図る。

- ・奨励金交付実績：34件

⑤ ジュニア選手指導者の指導力の向上

市スポーツ協会や各競技団体と連携し、指導者の技術力向上に取り組む。

- ・スポーツ指導者養成事業（補助事業・880千円）・・・ 交付率100%

8月から指導者講習会等が実施されており、9月以降も指導者講習会や競技役員講習会等が予定されている。

- ・日本体育大学連携事業

バレーボール、陸上競技の指導者を招致し、練習会と指導者クリニックを開催する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、大学及び競技団体と再調整を行うこととしている。

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-3 スポーツ環境の整備

□ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

□ 成果指標

評価内容	令和3年度	達成状況
体育施設の1施設当たりの年間延べ利用者数		
【体育館】 〈現状値：H27～R1 平均〉 24,031 人/施設	直近5年の平均利用者数以上	7,962 人
【野球場】 〈現状値：H27～R1 平均〉 6,947 人/施設	直近5年の平均利用者数以上	2,794 人
【多目的広場】 〈現状値：H27～R1 平均〉 4,897 人/施設	直近5年の平均利用者数以上	2,831 人
【テニスコート】 〈現状値：H27～R1 平均〉 5,222 人/施設	直近5年の平均利用者数以上	3,713 人

□ 目標を達成するための事業等

(1) 体育施設の安全性や快適性の確保（スポーツ推進課）

施設名	実施内容	実施状況
上越市総合体育館及び上越勤労身体障害者体育館大規模改修工事	冷暖房設備の設置、照明設備のLED化	令和4年2月完了予定
上越総合運動公園テニスコート塗装修繕及びクラック改修工事	フェンスの塗装工事	令和3年8月完了
高田城址公園弓道場塗装工事	射場的場屋根の塗装工事	令和3年6月完了
金谷山公園看板設置工事	看板の設置工事	令和3年9月完了
柿崎総合体育館照明取替工事	照明設備のLED化工事	令和4年3月完了予定
頸城 B&G 海洋センターアリーナ照明設備取替工事	照明設備のLED化工事	令和3年11月完了予定
中郷総合体育館照明設備取替工事	照明設備のLED化工事	令和4年3月完了予定
大潟体育センタートイレ改修工事	トイレの洋式化工事	令和4年2月完了予定

(2) 体育施設の指定管理の状況

施設名	管理者	期間	自主事業
上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園（野球場、多目的運動広場、庭球場）、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園（弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場）、上越市今泉スポーツ広場（野球場、多目的広場）、上越総合運動公園（テニスコート）、上越市教育プラザ体育館	一般財団法人 上越スポーツ協会	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	・健康体操教室 ・ヨガ教室 ・ランニング教室 ・各種スポーツ大会の開催
上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園（野球場、グラウンド、人工芝グラウンド）、上越市柿崎屋内水泳プール	新東産業株式会社		・さわやかフィットネス教室 ・いきいき健康体操&ストレッチ教室 ・男性のための体操教室 ・トランポピクス教室 ・初心者ジョギング講座 ・ドーム杯スポレック大会 ・ドーム杯硬式テニス大会 ・幼児・児童水泳教室
上越市立オールシーズンプール	株式会社 新潟ビルサービス		・水泳教室(短期含む) ・上越ASP水泳競技大会 ・親子水遊び体験教室 ・わんぱく水遊び天国 ・新春初泳ぎレクリエーション ・一日体験教室 ・スイムスキルアップ教室

(3) 体育施設の適正配置の方向性

施設名	施設区分	計画
浦川原区多目的運動広場	野球場、トレーニング棟	令和4年3月31日
清里中学校屋外運動場	照明設備	